

第3回小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：令和3年1月28日（木）午前10時から

場所：小金井市役所本庁舎3階第一会議室

- 1 開会
- 2 令和2年12月までの実績報告
- 3 事務局からの報告事項
 - (1) 新型コロナウイルス感染症の影響について
 - (2) 巡回相談中間報告
 - (3) 令和2年度講演会・研修会について
- 4 令和2年度業務評価報告書について
- 5 その他
- 6 閉会

■配布資料

- 資料1 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
- 資料2 令和2年12月までの実績報告
- 資料3 専門相談の傾向
- 資料4 新型コロナウイルス感染症の影響について
- 資料5 巡回相談中間報告
- 資料6 令和2年度講演会・研修会について・「きらきらレポート No. 1～No. 4」
- 資料7 令和2年度業務評価報告書（案）

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿

氏名	選出区分	所属	任期
亀井 瞳	市民公募	市民公募	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
宮崎 笑美子		市民公募	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
遠山 敬子		市民公募	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
五味渕 裕子	市内関係団体	小金井市障害者地域自立生活支援センター	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
佐々木 由佳		朋愛幼稚園長（民間幼稚園長会）	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
吉見 絵里		小金井なないろ保育園長（民間保育園長会）	令和2年8月1日から 令和4年3月31日まで
宇田川 麻里		たけのこ会代表	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
國松 利津子	学識経験者	東京都立小金井特別支援学校長	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
小川 順弘		モンゴル・マルガド大学名誉教授、 明星大学及び文京学院大学兼任講師	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
不破 淳一	関係行政機関	市立東小学校長	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
秋葉 美苗子		子ども家庭支援センター長	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで
田村 忍		教育委員会指導室指導主事	令和2年4月1日から 令和4年3月31日まで

※敬称略

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

令和2年12月31日現在

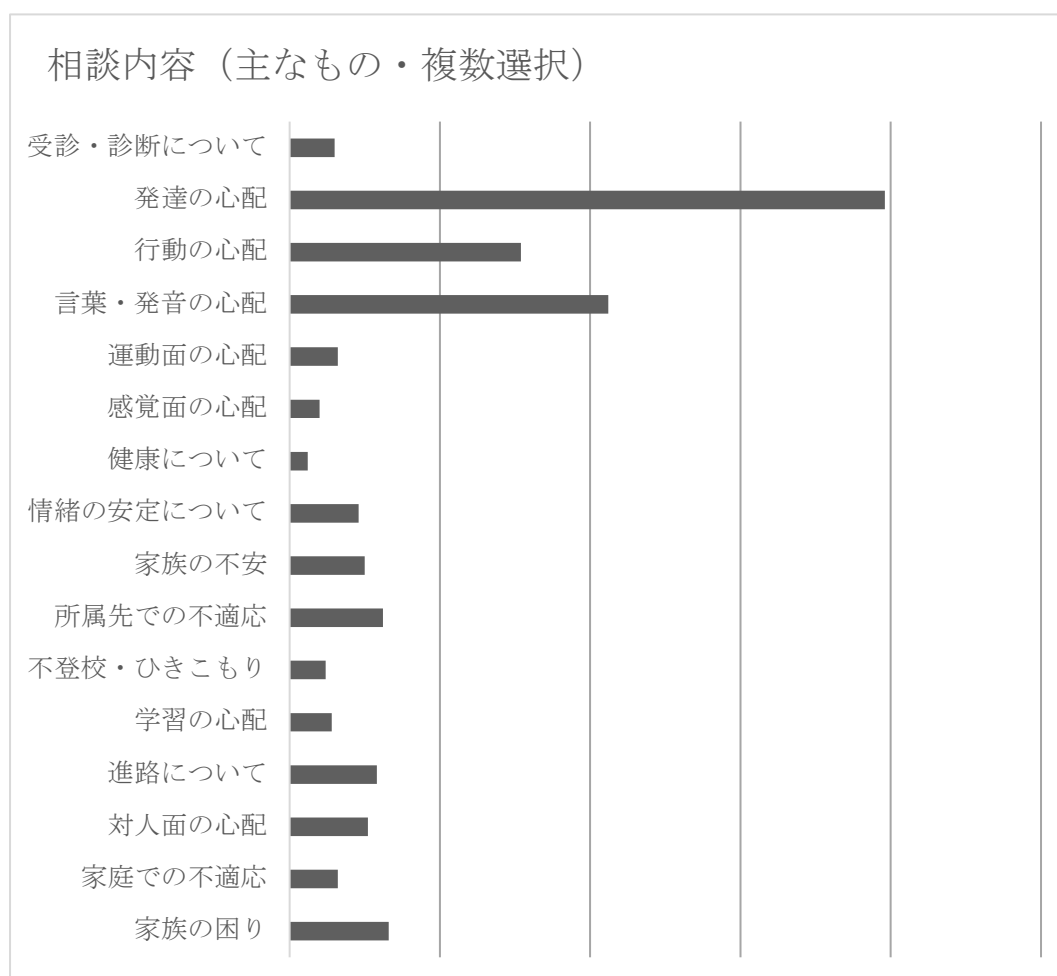
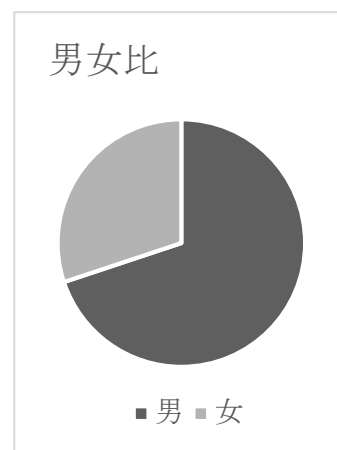
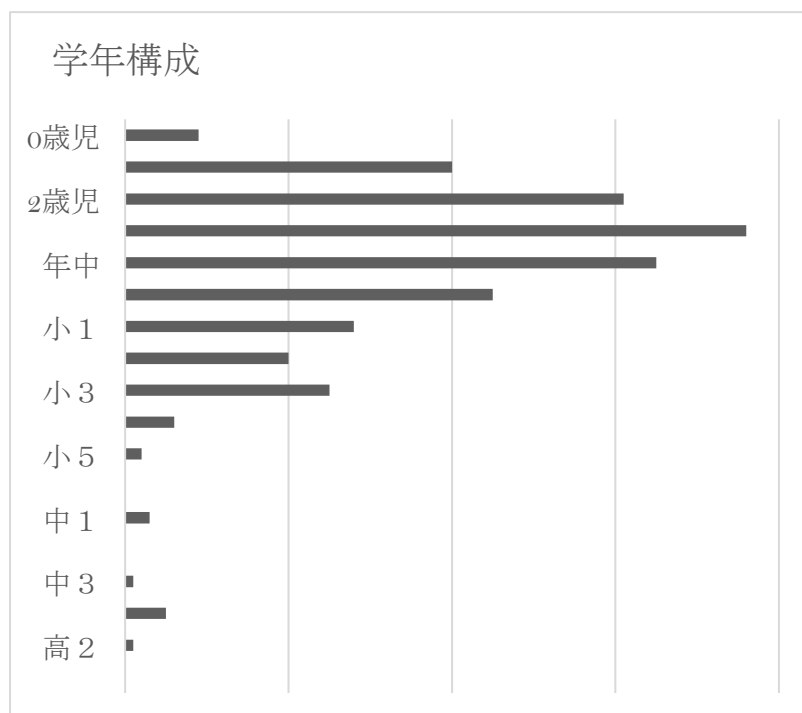
	令和2年									令和3年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①相談支援事業（一般）	3件	5件	17件	15件	22件	26件	18件	22件	20件				148件
②相談支援事業（専門）	30件	36件	53件	72件	69件	72件	78件	91件	81件				582件
③相談支援事業（㊦）	138件	206件	179件	178件	194件	239件	251件	220件	232件				1,837件

	令和2年									令和3年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
④児童発達支援事業	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人				-
⑤放課後等デイサービス	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人				-
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人				1人
回数	0回	0回	1回	0回	0回	1回	0回	0回	0回				2回
⑦親子通園事業	15人	15人	15人	25人	22人	24人	25人	25人	25人				-
回数	0回	0回	6回	9回	10回	9回	5回	9回	9回				57回
⑧外来訓練事業	124人	123人	122人	133人	143人	146人	147人	147人	150人				-
回数	38回	0回	260回	242回	278回	332回	293回	293回	282回				2,018回
⑨巡回相談事業	-	-	-	-	-	-	7回	6回	7回				20回
その他	11月：市民講座等の代替として紙面講座を発行。12/11：支援者研修（オンラインにて）。												

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（㊦）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート分、令和元年度から2年間試行実施）、学童巡回は含まれていない。

2020年度 専門相談の傾向 (2021年1月14日作成)



新型コロナウイルス感染症の影響について（令和 3 年 1 月 22 日現在）

◎昨年 3 月より実施している感染拡大防止のための通園・放課後等デイサービスの行事中止や内容の変更、外来訓練・親子通園を 15 分早く終了し、消毒・換気を行うなどの対策は現在も継続している。

◎東京都への緊急事態宣言(1 月 7 日)後の様子

- ◆きらりは感染拡大防止策(健康観察、手洗い、換気、消毒等)を徹底した上で、現状の事業を継続している。
- ◆外来訓練の利用料に関しては、利用者・職員共に感染症に関連した休み(感染防止のため、本人や家族の体調不良、濃厚接触者特定期間等)が増加することが想定されるため、欠席分の負担をなくし、振替は行わないとしている。
- ◆事業の実施の有無の問い合わせは 10 件弱であった。
- ◆感染者の増加(12 月後半)、1 月 7 日の緊急事態宣言等を受けて利用を控えている方は全事業合わせて 10 名程度。

◎三密を避けるための部屋の調整は引き続き苦慮している。

きらきらサポート カンファレンス・実践記録②

*実際に先生方が書いてくださったものを参考に、記録例を作成しています

モデル(クラス名・イニシャル):	訪問日: 年 月 日	書類送付締切: 月 日
------------------	------------	-------------

<要因の整理>・・・カンファレンスにて記入

	困っていること	考えられる要因	具体的な工夫
A園	①友だちとの関わりが激しい 押したり、力いっぱい首に抱き着いたり、 ほほをつねる、など ②だめと言われたことを何度もする ③「どうせできない」とすぐにあきらめる	①②意欲や努力ではなく、脳の機能(多動・衝動)としてとらえる ③注意されることが多くなりがち	①②急激な変化は難しい(脳の成熟・成長)ことを頭に入れて接していく ③自己肯定感を高めていけるよう、注意する時もまず児の理由を聞く
B園	クールダウンエリアに行っている子の姿を見て、「なんで？」と聞いてきたり、エリアを覗きに行くようになった	1人だけ違う行動が許されていると思ったり、うらやましい、ずるいと感じる子もいる	・まわりの子に対し、当たり前と思わず「ありがとう」「がんばっているね」など、認める、ほめる言葉をかける ・まわりの子の甘えを受け止める

<次回までの実践>・・・カンファレンス後、次回訪問までに実践して、そのようすを記入

記入日: 月 日

	工夫した内容	結果(子どもの姿)
A園	・急激な変化は難しいと話があったので、何回でも根気強く伝えることを大切にした ・注意する時も、注意だけで終わらず、理由を聞くことを心掛けた(注意の回数が多い場合には、毎回聞くのは難しかった)	「どうせできない」「あーあ怒られる」など、注意を受ける時に口にしている子もいたが、やってしまった理由を聞き、「そっか、じゃあ〇〇したらよかったかもしれないね！」など気持ちを受け止めつつ、どうしたらよかったかを落ち着いて伝え、「そうだね」と返事することもあった。
B園	・まわりの子に対し、当たり前と思わず「ありがとう」「がんばっているね」など、認める、ほめる言葉をかける ・まわりの子の甘えを受け止める	その時にそれぞれの子どもががんばっていることを誉め、他の子のよくない行動を指摘したり、大人に教えに来た時には「教えてくれてありがとう」などまわりの子の思いを受け止めていった。少しずつ「なんで(〇ちゃんだけ)?」が減っていったように思う。

<次回の相談内容> 次回訪問日: 月 日

C園

お気に入りのおもちゃ等に執着していて、給食やトイレにスムーズに行くことが難しい。おもちゃ等をしまっても何とか探してきて、出してほしいと必死に訴える子も。おもちゃの提供と、しまうタイミングについて考えていきたい。

<その他>

D園

・園でのようすを伝えると家でも園と同じような関わり方やサポートをして下さる保護者もいて、「関わることや試すことが楽しくなってきた」という話も聞いた。必要時には連絡帳でのやりとりをこまめにしている。
・就学支援シートを活用している子もいる。

令和2年度講演会・研修会について

- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、以下の内容に変更して実施。
- ◆ ペアレントトレーニング等、グループワーク・ロールプレイの要素がある研修は人数を減らし、動画の活用、フェイスシールド着用等の対策を行った。

種別	年度当初予定	実際
一般市民向け 研修	年2回開催	紙面講座「きらきらレポート」を作成し、きらり利用者(220名)、市内保育園・幼稚園・子ども園・学校・学童・その他関係機関(166ヶ所)へ11月に配布。 No.1 こどもにやさしい生活のアイデア No.2 偏食について No.3 ことばの発達を支えるために No.4 机と椅子
支援者向け 研修	年2回開催	
きらり保護者向け 学習会	年1回開催	支援者向け研修をオンラインにて実施 12月11日(金) テーマ「食べる時間を支える」 講師：きらり専門職 前田亜紀(言語聴覚士) 植木 響(臨床発達心理士) 当日視聴8名、後日動画視聴84名
	「就学相談・小金井市における特別支援教室」	教育委員会資料を情報提供
	子どもとの関わり方 連続講座 6回シリーズ 6名程度	1名について全3回で実施。
	ペアレントトレーニング (年中・年長児) 7回シリーズ 6名程度で前期・後期	3名で9月から実施中
	ペアレントトレーニング (小学生)7回シリーズ 6名程度で前期・後期	4名で10月から実施中

小金井市児童発達支援センター きらり 業務評価報告書（令和2年度）（案）



小金井市児童発達支援センター運営協議会 編

令和3年3月

目次

1	運営協議会の目的	1
2	運営協議会の協議内容	2
3	事業と業務評価	3
4	利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）	5
5	経年比較	12
6	総括	14

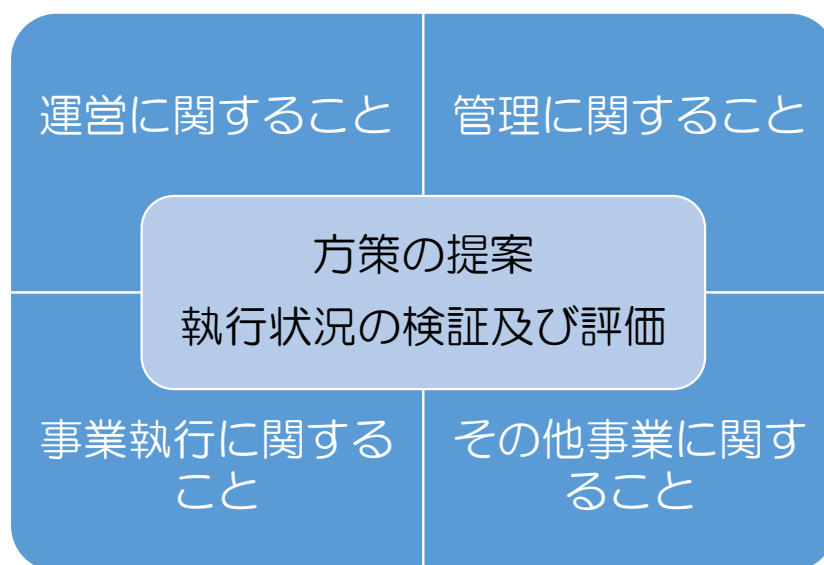
参考資料

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則	16
小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿	17
令和2年度利用実績一覧	18

1 運営協議会の目的

小金井市児童発達支援センター「きらり」の運営について、利用者及び関係者の意見を反映し、事業運営の適正化を目的として、小金井市児童発達支援センター運営協議会を設置しています。

協議会の所掌事項



協議会の委員構成

単位：人

センター利用者の保護者	3
市内関係団体代表	4
学識経験者	2
関係行政機関の職員	3

2 運営協議会の協議内容

回	開催日	協議内容
1	令和2年9月2日 (書面開催)	1 会長及び副会長の互選について 2 新型コロナウイルス感染症の影響について 3 令和2年7月までの実績報告 4 業務評価報告書(令和元年度)について 5 巡回相談事業について 6 令和2年度講演会・研修会について 7 今後の開催日程について 8 指定管理者の更新について
2	令和2年11月6日	1 開会 2 会議録の取扱いについて 3 第1回運営協議会の開催報告 4 令和2年10月までの実績報告 5 事務局からの報告事項 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響について (2) 巡回相談中間報告 (3) 令和2年度講演会・研修会について (4) 次年度の利用者募集について 6 運営協議会委員による事業評価について 7 今後の開催日程について 8 その他 9 閉会
3	令和3年1月28日	1 開会 2 令和2年12月までの実績報告 3 事務局からの報告事項 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響について (2) 巡回相談中間報告 (3) 令和2年度講演会・研修会について 4 令和2年度業務評価報告書について 5 その他 6 閉会

3 事業と業務評価

(1) きらりで実施している事業

相談支援事業

- ・「きらり」を利用する際の入り口です。保護者の希望、児童の状況を考えて、次の支援につなげます。また、専門的な相談が必要な児童には専門相談を実施します。

児童発達支援事業

- ・保護者と離れ、日常生活に必要な基本的な生活習慣の自立を図り、社会への適応を促す療育を行います。週5日の通園事業です。

放課後等デイサービス事業

- ・小学校に在籍する児童に対し、放課後の時間を利用して、必要な支援や居場所を確保することで、生活能力向上や自立を促します。

保育所等訪問支援事業

- ・保護者からの要望に応じて施設へ訪問し、児童が集団生活に適応できるよう、支援していきます。

外来訓練事業

- ・保育施設や幼稚園に籍を置く児童に対し、専門的な訓練を提供し、自立や社会への適応力を促します。

親子通園事業

- ・幼児との関わり方や遊びを通して、保護者に適切な幼児との関わり方の習得を促します。

(2) 業務評価について

例年、運営協議会委員による児童発達支援センターの業務評価として、各委員が児童発達支援センターを訪問し、児童発達支援・放課後等デイサービス・外来訓練・親子通園の各事業について評価を実施しています。

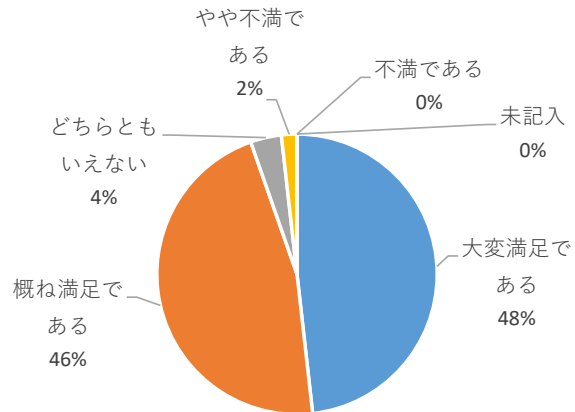
しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という過去に例のない状況が続いていること、業務評価の今後のあり方について過去にご意見があったことを踏まえて、令和2年度の運営協議会における児童発達支援センターの業務の検証については、委員がざらりを訪問しての評価は実施せず、例年行っている外来訓練・親子通園事業についての利用者アンケート結果等を委員間で共有し、検証を行こととしました。

4 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）

外来訓練事業

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	27
概ね満足である	26
どちらともいえない	2
やや不満である	1
不満である	0
未記入	0
合計	56



【評価理由】

大変満足である

- ・体のバランス、手先の器用さが出てきました。また、家でこうすると良い等のアドバイスも頂けるので助かります。
- ・個別相談では専門家の方にじっくり話を聞いてもらい、アドバイスを頂けて、とてもためになりました。
- ・子供の特徴を客観的に見てもらい、ご指導を頂いていることで、関わり方の方向性がわかり、冷静に対応できるようになってきたので助かっています。“今後も相談できる場所”という安心できる雰囲気があり、心強いです。
- ・子供の事を良く見てくれ、その都度、課題や助言を与えてくれるので、スモールステップで成長をし続けて本人も成功体験が増え、自信がついてきました。
- ・きらりやでやることを家で行ったり、使用している教材など参考になることが多いです。先生の子供への接し方も大変勉強になります。
- ・利用し始めた頃と比べると、効果が上がっていると実感しているので、満足しています。
- ・楽しく通えているし、就学支援シートの記入もしていただけて良かった。
- ・外来訓練を利用することにより、子供が落ち着いてきたように感じる。
- ・子供が毎週楽しみに通園できています。訓練も毎週バラエティーに富んでいて、季節感も感じられ、楽しく参加できているようです。
- ・先生が素晴らしいので、子供の成長も見られて満足しています。
- ・息子の成長を感じる。先生の息子評がとても的確。信頼しています。
- ・先生が親身になりアドバイスを下さるので、大変助かりました。また、進学についても、先生のアドバイス、心遣いあって、後押しして頂きました。本人も毎週楽しみにしているのです。
- ・その時々で困っている事に対するアプローチをして下さりとても有難いです。毎回、とても楽しい内容を用意して下さい、子どもも楽しく通っています。

概ね満足である

- ・子供が嫌がることなく楽しく通えているので。親と先生だけの時間が半年に1回でもあればよいなと思います。
- ・就学に向けて、本人の特性に合わせた様々な遊びを準備して頂いていると思います。また、下の子も連れて行っていますが、おもちゃを準備頂いたり、快く対応頂き、有難く思っています。
- ・子供と担当心理士さんの相性が良いと感じる。サービス内容は比較できる経験や知識がないので、何とも言えないが、子供の様子をよく見ながら進めて頂き、フィードバックももらえるので、親だけで見て様々なことを判断しなければならない状況の中で、一緒に成長を見守って頂ける場所が増え、安心につながっている。(保育園に加え)
- ・コロナの影響で消毒の時間とのことで短縮になってしまっている。
- ・先生がとてもよく見て下さり、よく理解してくれていると感じます。本人も遊んでもらえて、とても楽しそうにしています。
- ・就学も視野に入れながら、個に合わせた支援を行って頂けたため。
- ・いつも親身に接して頂いています。
- ・子供に対するご指導等大変気に入っています。来年から他市ですが、子供が遊びに来たいと言うかもしれない程、きらりを気に入っています。卒業しても、市と市をまたいだ相談等も出来れば嬉しいです。
- ・いつも楽しそうに通っているから。
- ・時間が15分短くなったのは残念。
- ・内容は満足ですが、通える回数が少ないため。

どちらともいえない

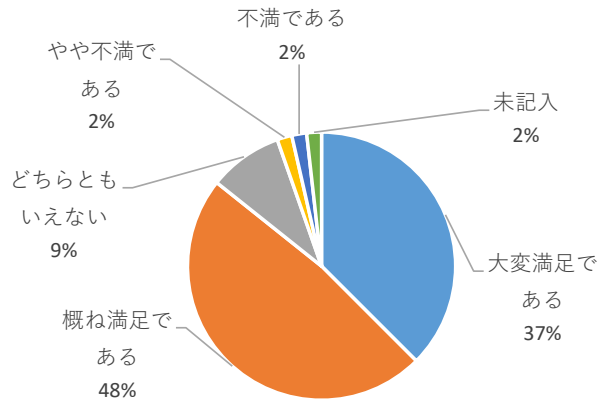
- ・丁寧に個を理解し、関わって下さり、職員の方々の熱意も伝わる。また、きらり通信等保護者への支援が充実しているから。(今年は学習会ができなくて残念、今後はZOOMなども検討してください)

やや不満である

- ・幼稚園や保育園に通いやすい様に、土日も開所して欲しい。

2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	21
概ね満足である	27
どちらともいえない	5
やや不満である	1
不満である	1
未記入	1
合計	56



【評価理由】

大変満足である

- ・受付の方も先生も親切。
- ・我が家は市外から越してきました。引っ越し先を決めるにあたって、いくつかの市に問い合わせましたが、現在子供が受けている、STの方との個別療育は3、4ヶ月に一度程度しか受けられないという市が多い中で、こちらのきりりでは月に3回も受けることができるという、とても手厚いサポートに大変感謝しています。また、施設も新しく、清潔です。
- ・ゆりかごや愛の園保育園も利用した事があり、細やかな心遣いを感じる機会が多いと感じます。
- ・スタッフの方々先生がとても親切で、安心して訓練をお願いできるし、したいと思う環境だと思います。
- ・利用して今6か月ほどですが、今のところ特に不満なところはなく、皆さんとても優しく親身になって相談ののってくれていると思います。
- ・外来訓練を担当してくれている先生が素晴らしい。
- ・クラスの先生はもちろん事務の方もとても明るく笑顔で対応して下さいます。誰にでも積極的に声掛けをしよう息子にとってはとてもありがたい環境です。
- ・3歳の頃から大変お世話になっています。皆様とても親身で様々（親も子も）助けられました。

概ね満足である

- ・概ね満足です。ただ受付のスタッフが変わった時等、大人は理解できますが、子供は最近違うね等、どこに行っちゃったの？等聞きます。彼らにとってはみんな先生と思っているようです。異動の時は最後にご挨拶して頂けると幸いです。
- ・特に問題ないと思います。
- ・感染症対策について迅速かつ丁寧に連絡を頂いた為。
- ・スタッフの方が親身になって下さる方ばかりです。時折、市との連携が取れているのか疑問に思うことがあります。

どちらともいえない

- ・不満はありません。他の事業者だった場合、どんな違いがあるのかが、わかりません。
- ・職員はとてもとても良い。この質をキープすることは一番大変なことだが、これからも維持してほしい。（市が援助負担可能であれば、給与待遇面の補償をしてほしい）きりり独自の事業というより、「市」のサービスとして、市民や社会情勢に必要なサービスを実施してほしい。

やや不満である

- ・組織構造に疑問を感じる

3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

- ・放課後デイの送迎サービス
- ・利用日数の増加
- ・ここに通う子をもつ親は、何かと不安や心配事を抱えることが多いので、気軽に電話で聞けるような体制にあると助かります。（外来訓練では子どもと一緒にいるこの前ではご相談しづらいこともある）
- ・現在で満足しています。
- ・放課後デイが小学生までなので、18歳まで長期における対応をして欲しい
- ・心理だけ、作業療法だけでなく、いろいろできるとよいなと思います。親と先生だけでお話できる時間が別途、年1～2回でもあれば嬉しいです。
- ・親の為にオンライン勉強会やイベントがあると嬉しいです。
- ・ソーシャルスキルトレーニング、ペアレントトレーニング、専門書や関連書籍の貸し出し、親同士の関わり場の場、情報共有の場
- ・お家で出来る感覚総合遊びの指導を親向けに行って欲しいです。
- ・勉強についても（小学生）あると嬉しいです。
- ・同じ年齢の子をもつ保護者同士が集まれる会（保護者会か説明会等）があればいいなと思いました。今年はコロナのせいで難しかったとは承知しています。
- ・ミュージックケア
- ・平日は仕事をしているため、土曜日の受付やサービスを拡充して頂けると有難い。

4 その他（自由意見）

- ・いつもありがとうございます。きらりに行く日を楽しみにしていて、毎日のように「明日きらり？」と聞いてきます。私も月3回先生に困った事など相談できるので、とても気持ちが楽になりました。
- ・利用希望者に対して、利用できる人数が少ないと聞いているので、サービス拡充を検討願います。
- ・息子はきらり通所をとっても楽しみにしている。実施されるトレーニングがとても楽しいらしい。先生方も親に寄り添って、話を聞いて下さる。思い悩むところもあったが、話をさせていただいて、前向きになった。“きらり”には大変感謝しています。
- ・親や幼稚園だけでは気付けない事や専門知識をわかりやすく伝えて下さり、家庭や幼稚園での接し方や言葉の伝え方、勉強法など親身になって考えて下さるので、とても心強いです。今だけの事だけではなく、この先の事も意識した進路や助言、医療との関わり方なども教えて下さり、とても感謝しています。
- ・補欠当選で外来訓練を受けられる様になって、本当に良かったです。小学校での特別支援学級も応募者が多いこのご時世なので、きらりでも受け入れ人数が多くなると良いと思います。
- ・いつも良くして頂き、大変感謝しています。毎日来たいくらいです！コロナのこともあり、益々お仕事が増えているとは思いますが、今後も当面お世話になるとお思いますので、よろしくお願いたします。素晴らしいお仕事ですね！頑張ってください！
- ・特性を持つ子供の事を相談できる人がいなかったのが、きらりに通うことができたことは息子にとってはもちろん、私たち両親にとってもプラスなことが多く、本当にありがたく思っています。就学に向けても、様々な情報を頂けたことはとても役に立っています。
- ・療育を必要とする（と大人が判断する）子供が就学を迎えた後も安心して暮らし学べる公教育の場がつけられるよう「きらり」のような場からも発信して後押ししてもらいたい。
- ・きらりでもらうアドバイスが現実的ではない時がある。
- ・子供は成長すると言いつつ、将来は支援学級に行って、頑張ってグループホームに行く話をされたりして、親が気持ち的にどん底まで落ちることを平気で言ったりされる。
- ・通園できない方もいらっしゃるこのことですので、こういった施設、事業が増える则有難いです。
- ・コロナの陽性者が出た時、療育に行って手紙で初めて知ったので、事前に知りたかったです。

- ・いつも大変お世話になっております。今後ともよろしくお願ひいたします。
- ・子供に関する気になることや、不安、疑問などについて、ネットで調べて、なんとなく良さそうな本を読んだりしていますが、きりりとしておすすめの本や情報などをお知らせくださると嬉しいです。
- ・継続利用を希望なのですが、受給者証を他で利用している為、来年度継続することができなくなってしまったのが残念です。どういう理由で利用できないのか、納得できません。
- ・フィードバックの順番待ちの時にずっと立っているのが辛いので、待合室で待っていただくと有難いです。
- ・子供は急に熱をよく出すこともあるので、振替制度を作って欲しい。前月末日締めだと早すぎる。もう少しフレキシブルに予約の変更、キャンセルを出来るようにして欲しい。子供の進捗状況を細かめにフィードバックして欲しい。(どこが進んでいて、どこが弱いのかなど、2か月に1回くらいは知りたい)
- ・路上駐車が多いため、提携駐車場があって欲しい。
- ・スタッフの方がご本人の都合でお休みされることは当然の権利であると思います。しかし、そのしわ寄せが支援を必要としている子供にくることに疑問を感じます。
- ・こちらに通って、母子共にとても成長させてもらっています。母へのペアレントトレーニングなどのフォローも大変になりました。今後ともよろしくお願ひします。
- ・放課後デイで自由時間が多いように感じるので、個々に合わせた課題など個別対応を充実して欲しい。
- ・コロナで中々他のお子さんと友達になれないのが残念です。
- ・心理士の発達相談を受けた際に、障害の特定につながる特徴を伝えていたが、検査等の勧めはなかった。(相談はまずは心理士で受けるのではなく、状況に応じてST等も同席する等の対応も取れば、結果も違ってくると思います。)またその後、障害が判明した後の面談でも発見が遅れたことへの重さを特に感じているようには見受けられなかった。障害発覚の遅れがそのことだけが原因とは全く考えていないが、専門家として幅広い知識を持ち、言葉の重みは十分に感じて欲しい。また、心理士、PT等個々の知識、能力に頼っており、訓練の進め方に個人の能力差が大きく、組織的に動いていないように感じる。
- ・Q3にも記入しましたが、市区町村の療育機関でこれだけの頻度で診てもらえるのは珍しいと思います。療育の利用を希望する子供は増えていると思いますが、希望する子供達が皆利用できるといいなと思います。もちろん子供本人のためではありますが、専門家に子の特性を見てもらい、情報を共有するだけでも不安が減り、我々親も大変助けられると感じています。ぜひ今後も療育を必要とする子とその親のために、事業を続けていって欲しいと願ひます。
- ・今年の夏から(年長)グループ訓練に通うようになり、二学期から幼稚園に楽しく通えるようになりました。感覚過敏な息子とどう向きあってあげていいのかわからず、悩んでいる時にきりりに相談することができて、前向きに息子を客観的に理解をし、子育てができるようになり感謝しています。先生方も優しく丁寧に話を聞いて下さり、息子は楽しみにしてきりりに通っています。きりりに通うようになって、幼稚園への意味のない期待や相談をしなくなり、良かったと思います。以前は先生の言うことで戸惑う事が多かったです。
- ・新型コロナ対策で訓練時間が15分間短くなったことについて、今後もこの対応(45分間訓練)を続けるのであれば、自己負担額の改定が必要ではないでしょうか?もしくは、15分短縮を5分~10分程度にして、少しでも訓練に時間を使えるように工夫して欲しい。
- ・次年度の利用希望調査用紙の提出時期が早すぎるし、利用決定の時期が遅すぎる様に思います。仕事をしている者にとっては、次年度の仕事を入れにくい状況です。せめて、利用決定の時期を1月末に早めてほしいです。
- ・前年度から、他の児童発達支援との併用が不可になりましたが、小金井市福祉課のご担当の方はご存知ではありませんでした。これはきりりでのマイルールなののでしょうか?利用者決定に関わっている福祉課の方が知らないことに驚きました。
- ・子供がとても楽しく通っております。たまに配られる、きらきらレポートのようなものは、日常生活を送る上でとても助かります。
- ・たくさんのお子様が行われているため仕方ありませんが、時間がもう少し長いとありがたいです。(子供が遊び足りなさそうで)コロナもあるため難しいですね。
- ・小金井市の放課後等デイサービス事業所が少なすぎるので、市内はどこも待機待ちの状況である。誘致を促してほしい。
- ・発達障害の子供のサービスを検討してほしい。学童も知的障害でないと加配ができないとのことで、自立生活支援課のほうから、加配を出すなど、対応可能なことを検討して欲しい。(お金は必要だが)
- ・教育委員会、指導室、児童青少年課、自立生活支援課との連携を!!よろしくお願ひします。
- ・是非指導の質の維持ができるよう、市が雲柱社を支援してください。雲柱社も市民のニーズを聞いてください。世の中変わってきています。
- ・子どもの成長をいつも一緒に見守って下さりありがとうございます。悩んでいること、不安なこと、嬉しかったことなど、日々の出来事を聞いて下さり共感して下さる先生方の存在は、私にとって本当に支えになっております。これからもよろしくお願ひいたします。

親子通園事業

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	7
概ね満足である	3
どちらともいえない	0
やや不満である	0
不満である	0
未記入	0
合計	10

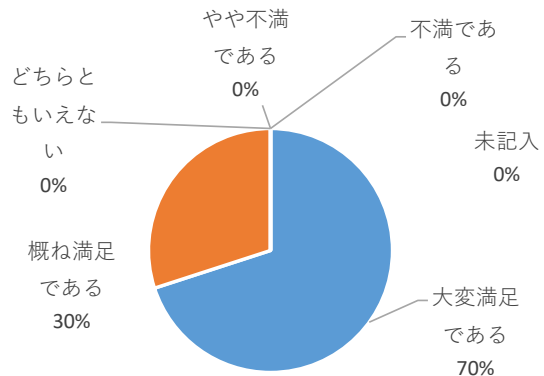
【評価理由】

大変満足である

- ・子供が楽しいと言っている。成長を感じられる。アドバイスも有難いです。
- ・子供のレベルにあった内容で、本人も楽しく通っています。相談時間もあり、とても助かっています。
- ・療育に通い始めてから、日に日に息子の様子が落ち着いてきました。毎回、先生方には子育てに関する相談にのっていただき、子供だけでなく、親も勉強させて頂きました。
- ・先生が2人もついてくださり、毎回様々なプログラムを提供して下さり充実していたため。無料でやっていただけたのもありがたかったです。
- ・少人数で親身になってみていただけるので親としてすごく安心感があります。相談内容によっては「こんな事聞いてもいいのかな？」と思うような内容もきちんと答えてくれ、アドバイスして下さり為になります。

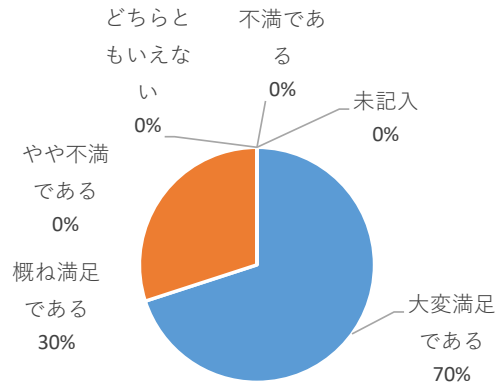
概ね満足である

- ・今年度より利用させて頂いていますが、不安や心配に感じている事も親身に相談にのってくれたりと安心して通うことができています。何より子供が楽しく参加できているのが、親としては大変嬉しいです。
- ・コロナの影響もあるのですが、おやつ時間が無くなった分寂しいようです。



2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	7
概ね満足である	3
どちらともいえない	0
やや不満である	0
不満である	0
未記入	0
合計	10



【評価理由】

大変満足である

- ・とても親身に相談のってくださっています。知人で他の雲柱社さんの施設を利用している人がいますが、その方からの評価もいいです。
- ・療育に通い始めてから、日に日に息子の様子が落ち着いてきました。毎回、先生方には子育てに関する相談のっていただき、子供だけでなく、親も勉強させて頂きました。
- ・他にお世話になったことがないので特にありませんが、満足しています。

3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

- ・今で十分満足しています。強いて言うなら、無理かとは思いますが、一部だけでもビデオ撮影ができれば…と思います。（家で同じ歌や遊びをしたいので）
- ・現状に大変満足しています。コロナもあって運営も大変かと思いますが今後ともどうぞよろしくお願い致します。

4 その他（自由意見）

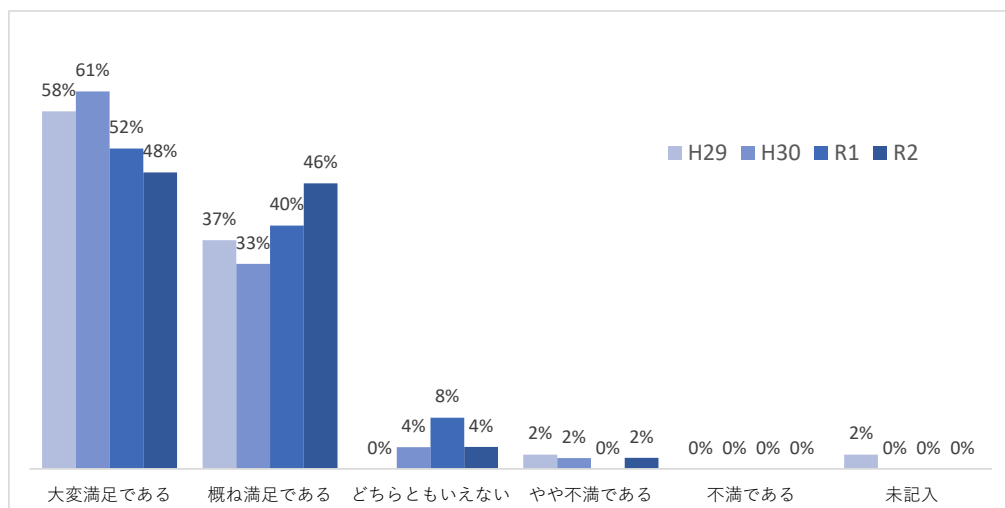
- ・親子通園事業はとても良かったです。ありがとうございました！
- ・きらりで行われている発達相談や発達検査ですが、受けようと思っても数か月待ちということがあるので、もちろん仕方ないこともあるかと思いますが、もう少し予約が取りやすくなればいいなと思います。
- ・利用回数が増えると大変有難いです。
- ・いつも楽しく通わせて頂いています。相談したことについては、いつもその場で解決案を頂けるのですが、それで解決することも多くて本当にありがたいです。コロナでソーシャルディスタンスなどの課題が多い中で、これだけ有意義に過ごさせていただいているのは素晴らしいと思います。
- ・要望ですが、いつも子供が園庭をうらやましそうに見ているので、少しでも利用できれば有難いです。よろしくお願い致します。
- ・コロナが流行している中でも事業を続けて下さり、ありがとうございます。消毒など大変な中でもあたたかく迎えて下さり、本当に有難いと思っております。欲を言えば、駐輪場所に屋根がついていたら助かるな…と天気の悪い日は思っています。
- ・いつも丁寧にご対応いただき本当にありがとうございます。子の発達へのはたらきかけをして下さるだけでなく、親のフォローやアドバイスを下さるのでむしろそちらの方がありがたいものを感じています。市の保健師さんに相談しても「大丈夫よ」で済まされていたであろう内容も、客観的、冷静、理論に基づいてつっこんで話して下さいるので、親も子の理解ができますし、今までもややもやでしかなかった事を割りきって考えられるのでここでのお世話になって本当に良かったと思っています。

5 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）経年比較

【外来訓練事業】

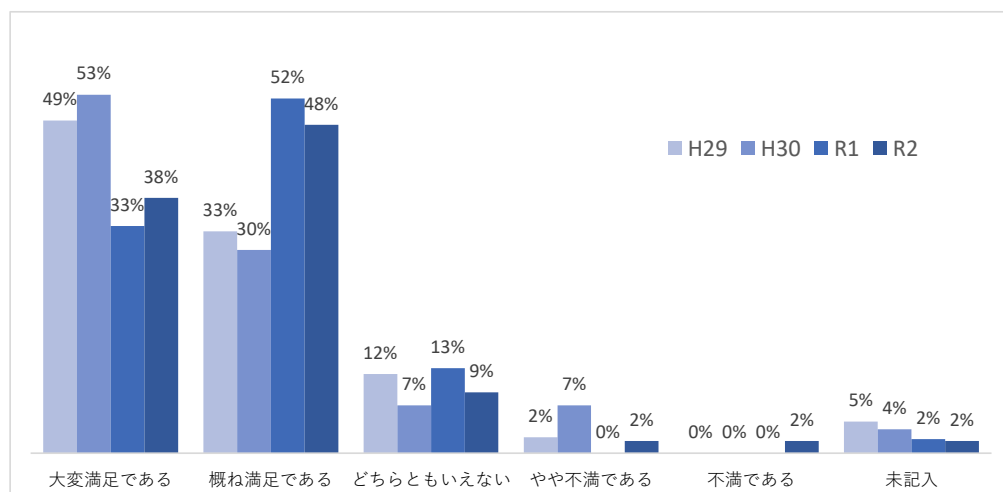
1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
H29	25	16	0	1	0	1	43
H30	35	19	2	1	0	0	57
R1	25	19	4	0	0	0	48
R2	27	26	2	1	0	0	56



2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

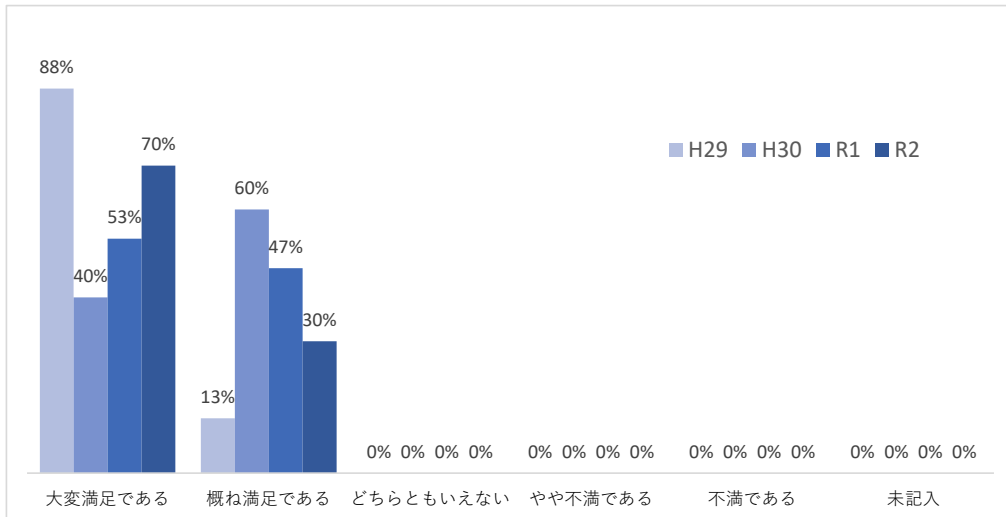
	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
H29	21	14	5	1	0	2	43
H30	30	17	4	4	0	2	57
R1	16	25	6	0	0	1	48
R2	21	27	5	1	1	1	56



【親子通園事業】

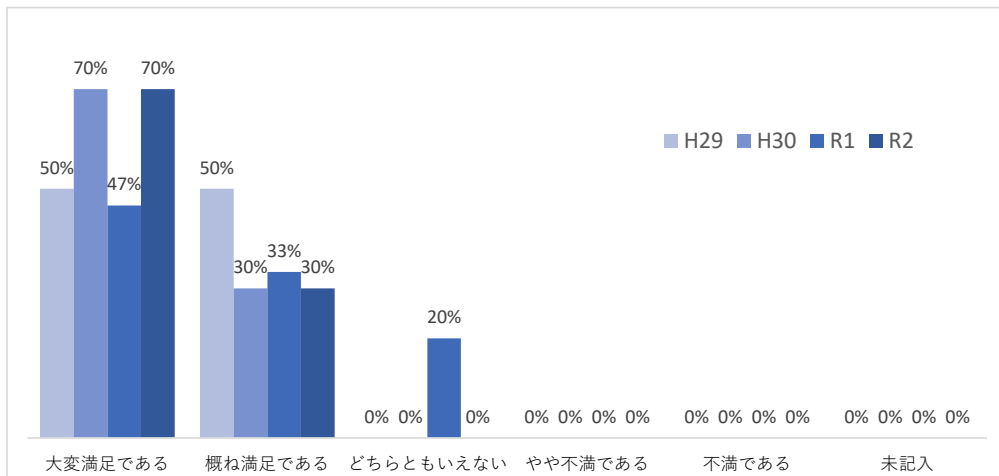
1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
H29	7	1	0	0	0	0	8
H30	4	6	0	0	0	0	10
R1	8	7	0	0	0	0	15
R2	7	3	0	0	0	0	10



2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
H29	4	4	0	0	0	0	8
H30	7	3	0	0	0	0	10
R1	7	5	3	0	0	0	15
R2	7	3	0	0	0	0	10



6 総括

平成25年10月の開所以来、小金井市児童発達支援センター「きらり」の運営等に関して本協議会において確認及び検証を行ってきました。令和2年度は協議会の第4期目（令和2・3年度）として、全3回協議会を開催し、本項はその1年間の総括としてまとめるものです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大という過去に例のない状況は、「きらり」の事業や本協議会の運営にも大きな影響を及ぼし、事業の縮小等も余儀なくされたところです。しかし、このような状況下にあっても、感染症対策を行える限りの事業継続を図ってきたところです。

提供しているサービスの内容については、東京都福祉サービス第三者評価による評価及び利用者アンケートの結果からも、概ね高く評価することができます。また、新たな取り組みとして昨年度から試行実施している巡回相談についても、巡回先からは概ね好評を得ているところです。次年度以降は、2年間の試行実施で浮かび上がった課題や気づきを糧に継続的な取り組みをしていくことが重要だと考えられます。

施設の管理運営面については、運営法人が指定管理者として施設の管理を行っていますが、感染症対策のための環境整備や以前より要望のあった空調設備の整備を行う等、管理状況は概ね良好であるといえます。しかし、開所より7年余りが経過し徐々に施設の劣化も見受けられることから、計画的な修繕に努める等、施設を将来にわたり安全・快適に使用するための長期的な視点も必要と考えられます。

「きらり」からの情報発信については、講演会や研修会の実施が難しい状況でしたが、紙面講座「きらきらレポート」の作成やオンライン研修会の試行実施等の新たな取り組みを行ったところです。「新しい生活様式」も踏まえ、引き続き情報発信に努め関係機関との連携を強化する取り組みが必要です。

以上の内容を踏まえ、令和2年度における「きらり」の総合的な評価は概ね高いものであるといえます。先にも述べたように、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という過去に例のない状況は、「きらり」の事業運営にも大きな影響を及ぼしていますが、支援を必要とする子どもたちのために、必要な支援を持続的に行う必要があると考えます。

参考資料

- 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則
- 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
- 令和2年度利用実績一覧

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、小金井市児童発達支援センター条例（平成25年条例第19号）第19条の規定及び小金井市と小金井市児童発達支援センターの指定管理者（以下「指定管理者」という。）との間で取り交わす管理に関する基本協定に基づき、小金井市児童発達支援センター（以下「センター」という。）の利用者及び関係者の意見を反映して指定管理者の事業運営の適正化を目的として設置する小金井市児童発達支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関して、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌し課題解決等に向けた方策の提案並びに実施事業の執行状況の検証及び評価（以下この条において「提案等」という。）を行う。

- (1) センターの運営に関すること。
 - (2) センターの管理に関すること。
 - (3) センターの事業執行に関すること。
 - (4) その他センターの事業に関すること。
- 2 協議会は、提案等の結果を速やかに市長に報告するものとする。

(組織)

第3条 協議会は、委員12人以内で組織する。
2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。
(1) センター利用者の保護者 3人以内
(2) 市内関係団体代表 4人以内
(3) 学識経験者 2人以内
(4) 関係行政機関の職員 3人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。
2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に、会長及び副会長を置く。
2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。
2 協議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ、会議を開催することができない。
3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の聴取)

第7条 協議会は、必要に応じて委員以外の者に対して出席を求め、意見を聴くことができる。

(公開)

第8条 協議会は、公開とする。ただし、公開することが協議会の公正な運営に支障があると認められるときは、出席委員の過半数の議決により、非公開とすることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、福祉保健部自立生活支援課において処理する。

(委任)

第10条 この規則の施行に関して必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、平成25年10月1日から施行する。

付 則（平成28年3月31日規則第37号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
 (令和2年4月～令和4年3月まで)

氏名	選出区分
亀井 瞳	市民公募
宮崎 笑美子	
遠山 敬子	
五味渕 裕子	市内関係団体
佐々木 由佳	
吉見 絵里 (令和2年8月1日から)	
宇田川 麻里	
國松 利津子	学識経験者
小川 順弘	
不破 淳一	関係行政機関
秋葉 美苗子	
田村 忍	

※敬称略

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

令和3年3月31日現在

	令和2年										令和3年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	3件	5件	17件	15件	22件	26件	18件	22件	20件				148件	
②相談支援事業（専門）	30件	36件	53件	72件	69件	72件	78件	91件	81件				582件	
③相談支援事業（ ㊦ ）	138件	206件	179件	178件	194件	239件	251件	220件	232件				1,837件	

	令和2年										令和3年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人				-	
⑤放課後等デイサービス	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人				-	
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人				1人	
回数	0回	0回	1回	0回	0回	1回	0回	0回	0回				2回	
⑦親子通園事業	15人	15人	15人	25人	22人	24人	25人	25人	25人				-	
回数	0回	0回	6回	9回	10回	9回	5回	9回	9回				57回	
⑧外来訓練事業	124人	123人	122人	133人	143人	146人	147人	147人	150人				-	
回数	38回	0回	260回	242回	278回	332回	293回	293回	282回				2,018回	
⑨巡回相談事業	-	-	-	-	-	-	7回	6回	7回				20回	
その他	11月：市民講座等の代替として紙面講座を発行。12/11：支援者研修（オンラインにて）。													

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（ ㊦ ）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート分、令和元年度から2年間試行実施）、学童巡回は含まれていない。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル①	法人の人事制度ガイドラインのもとに目標管理シートを使った人事管理を行っている	
内容①	当法人が策定した人事制度ガイドラインは論理的で体系的な「人事制度ガイドブック」がある。このガイドブックではU(units/共生:世界との共生)＝C(challenge/挑戦:キリスト精神実践への挑戦)×S(safety/安心:働き続けることへの安心)という高次元の基本指針が設定され、等級制度、評価制度、報酬制度などに展開され、更には指導職、一般職の階層別体系があり、評価制度は各人の目標管理シートに、報酬制度はさらに基本給、各種手当、賞与などの報酬体系に具体化されている。人事管理の手引書として出色のものである。	
事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル②	子どもに関する記録が行われ、職員間で情報共有している	
内容②	毎日、保護者向けにサービス提供状況について報告し、確認している。サービス提供記録は保護者との連絡帳も兼ねている。計画に沿って週間の振り返りも記録して保護者に伝えている。パート職員も含め、支援を担当する職員すべてが日々の記録を共有し支援に活かしている。子どもに変化があった場合、朝夕に支援者全員で申し送り、引継ぎを行っており、職員間で情報を共有している。記録類は支援中の記録時間とその間の見守り職員の確保が難しかったが、現在、新型コロナ対策の消毒、清掃の徹底などで、さらに厳しい状況があり、改善の余地がある。	
事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-1	個別の支援計画に基づいて子ども一人ひとりの発達の状態に応じた支援を行っている
タイトル③	子どもとの具体的な関わり方について職員間で共有して支援している	
内容③	一人ひとりの課題について細かく丁寧にアセスメントしており、個別支援計画に基づいて、これまでの支援の経過と子どもの様子を非常勤職員も交えた振り返り会議で確認し具体的な関わり方まで共有し合って支援している。子ども一人ひとりの状況と支援の方法を全職員が共通に理解した上で、支援していることが、クラスでの実際の職員同士の無言の連携や動きからも頷くことができる。また個別支援計画の書式をセンター方式に改めたことで、振り返りを活かして次の支援へ繋ぐ支援の連続性がより確認し易くなっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	年度末に遭遇した新型コロナ禍に対し、何よりも優先して子どもの安全を守る取り組みに集中した。
	内容	年度目標の一つに安全管理がある。そして、「設備、遊具の定期的点検」「ヒヤリハット、事故報告と事故防止」「来園者のテレビモニターでの確認の徹底」「療育時の怪我、感染症に速やかに対応できるよう職員間の役割・対応を確認する。」などの4項目がある。図らずも年度末に発生した新型コロナウイルスへの対応は当事業所においても、未曾有の感染症対策の実践の場となった。事業所では、新任のセンター長として、この災厄に遭遇して、まずは子どもたちの安全を優先することとして、多くのエネルギーを感染予防対策に注力した。
2	タイトル	各事業職員間の連携が密で情報を共有するしくみと習慣を踏まえ、「相談から療育までの一貫した支援の発達支援センター」を目指している
	内容	職員アンケート結果によると「各事業を越えて、情報共有や協力できる体制がある。職員同士の風通しは良い。」や「相談から具体的な支援まで、連携しながら取り組むことができる。」「多様な職種がいて、すぐに相談できる。」などの複数職員の声があった。当センターが各事業の職員間の連携が密であり、細かい情報も共有するしくみと習慣があることを示している。これらの各事業の職員間の連携と情報共有の仕組みと習慣を踏まえ、事業所は「相談から療育までの一貫した支援のできる発達支援センター」という理念の実現を目指している。
3	タイトル	子ども一人ひとりとのコミュニケーションが重要と捉え丁寧に支援している
	内容	子ども一人ひとりの課題に対する支援を行う場合にコミュニケーションを重要と捉えており、一人ひとりの特性を理解した上で、言葉、写真、コミュニケーションブックなどさまざまなツールを利用しながら、その子どもが解りやすい方法で伝えられるよう丁寧に支援している。室内は、見通しをもって自分の課題に積極的に取り組めるよう、子どもに解りやすくプログラムを掲示するなど環境設定にも配慮している。自分からカードを指し示して、自分の要求を堂々と先生に伝えることが出来るようになってきている子どもの姿があった。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	当事業所は現在6事業を実施しているが、各事業に止まらず、センター全体の運営に関わる人材育成に努めたい
	内容	法人にはU(世界との共生)＝O(キリスト精神実践への挑戦)×S(働き続ける事への安心)という高次元の基本方針から展開され、等級、評価、報酬の各制度が構築された体系的で精緻な「人事制度ガイドブック」がある。職員は、臨床心理士を交えた「専門職カンファレンス」などの各研修や階層別研修を通じてスキルを向上させ、個人別の目標管理シートなどで自己評価を行っている。センター長が考えているように、今後は当事業所が行う個別の事業だけではなくセンター全体の運営に関わる人材育成など、長期的な視野を持って人材育成に取り組みたい。
2	タイトル	虐待防止等、マニュアルの整備が進んできたため、今後、当該マニュアルを活用する取り組みの積み重ねが望まれる
	内容	事業所は、これまでの障がい児・者支援ブロックの虐待防止対応規程では不足する児童虐待の視点を含めた対策が必要だと考えていた。昨年9月にセンター長により、児童虐待・支援者による虐待・身体拘束の考え方を盛り込んだ、きらり版「児童虐待防止マニュアル」が完成した。今年度から虐待防止担当を設け、具体的な取り組みを進めている。今回の職員アンケートで「虐待についての新しい取り組みを今年度行えたことで意識が変わった。」等、複数の職員が同趣旨の表明をしていた。今後は当該マニュアルを活用する取り組みの積み重ねが望まれる。
3	タイトル	放課後デイが登所した誰れもが安心し自信に繋がる時間となるための具体的な取り組みを期待する
	内容	放課後デイは年齢や一人ひとりのコンディション、登園時間も異なる中での週1回の登園である。限られた環境で一人ひとりの課題へのアプローチが難しい中では、どの子どもにも必要なものは何か、子どもの育ちを全体として大きく捉える必要がある。安心できる場所で自分の命を大切なものだと感じる事ができ、勇気を持って生きていけることに焦点を当て、自分の強味やいい所を見つけたり、集団の中でも静かに自分に向き合える時間を作る工夫など、登所した誰もが安心できる場や時間となるための具体的な取り組みを期待する。